

一般財団法人 同友会
「法人目標」

- 24時間、迅速急性期医療と専門性を持つ医療の充実
- 医療、保健、福祉における包括サービスの提供
- 地域コミュニティ形成を目指す健康増進の推進
- すべての職種に対する医療者としての教育、研修の場の確立

藤沢湘南台病院
「病院理念」

- 信頼とやすらぎのある医療
- 専門性と倫理観のある医療
- 地域に貢献する医療

私たち、

藤沢訪問看護ステーションスタッフです



管理者 佐々木 禎子



日頃より地域の皆様、各関係機関の皆様には大変お世話になり心より感謝申し上げます。当ステーションは平成8年に認定を受け、皆様のご支援ご協力のおかげで26年目をむかえました。

少子高齢化と家族のかたがちが多様化し、在宅医療が推進され地域医療の充実が求められています。ある日病気になる介護が必要になったその時、ご家族一人で看るケースも増え、またお一人暮らしの場合は不安が大きくなることと思います。

最近の利用者様はがん末期の他、認知症、精神障害、人工呼吸器を装着されている方など多様化しています。また医療処置として服薬指導、喀痰吸引、在宅酸素管理、ストーマ(人工肛門)・膀胱留置カテーテル管理が多くなっています。

私たちは、ご利用者様の最期までご自宅でご過ごしたいという希望に沿いつつ、地域かかりつけ主治医、ケアマネジャー、薬剤師、介護サービスなどの連携を大切に支援いたします。

一人ひとりを大切に丁寧に寄り添い、地域の皆様安心して過ごせるようお手伝いさせていただきます。在宅看護に不安や疑問がございましたら悩まずに、まずはご相談ください。



私たちと一緒に
働きませんか



You Tube
「訪問看護師のやりがい」を
ご覧ください



募集要項



訪問看護師
野中 洋子

育児のため3年間離職した後に、次男が4歳の時に復職し、訪問看護師として再スタートし20年になります。多種多様な生活場面でじっくり触れ合うことに魅力を感じ続けてきました。色々なことがありましたが、一番身近なところでご利用者様やご家族様に寄り添えることにやりがいを感じます。一人ひとりがどんなふう暮らし生きたいと思っているのかに向き合い寄り添うことで、その方らしい療養生活を支えていきたいと考えています。
「いつもありがとう」「何でも相談できて安心する」と笑顔を見せていただけることが最大の喜びです。



訪問看護師
篠原 咲絵

藤沢訪問看護ステーションの看護師として、17年目になりました。育児との両立の理解がある職場の体制と、先輩の『細く・長く働く』の言葉が、私の訪問看護を続けたいという気持ちを支えてくれました。
ライフワークバランスが少しずつ保てるようになり、子供の成長を楽しんでいます。さらに自分も成長しなければと、仕事でパワーアップできるまでになりました。『細く・長く働く』から、『太く・長く働く』ことができる職場であると思っています！
今後は更に、訪問看護のスキルアップをしながら、ご利用者様やご家族様に寄り添い支えられるように邁進していきたいと思っております！



訪問看護師
三上 敬子

訪問看護師として働き出して5ヶ月が経ちました。以前は急性期病院の病棟勤務看護師として働いていました。病棟で経験した看護技術や知識は訪問看護でも全て活かしていると思っており、大きな自信につながりました。
今後は、病棟勤務では経験していなかった地域連携の視野を広げて活躍していきたいです。



事務職
亀山 美幸

訪問看護に携わって3年が経ちました。初めは介護保険などの請求業務で、わからないことばかりでした。法人内の居宅介護支援センターでケアマネジャーに相談しながら、一步一步確実にステップアップできました。ご利用者様の大切なお支払いに関わる業務ですので、細心の注意を払い、請求書を発行しています。
ご利用者様と直接お会いする機会は少ないですが、今後も電話での対応や事務処理等を通して、信頼いただけるよう努めてまいります。



訪問看護師
齋藤 純恵

私は、急性期病棟から当ステーションに異動し7年目となり、たくさんのお会いやお別れを経験させていただきました。中でも特に心に残っているAさんについてお伝えさせていただきます。

Aさんは腸閉塞を繰り返し、訪問診療と訪問看護をご利用し在宅療養されました。食欲がとても旺盛なのですが、食事制限があるため食べたい物を我慢し、傍で支える奥様も食べさせてあげたい気持ちをぐっとこらえて、日々過ごしておられました。

訪問看護のサービス時に腸閉塞再燃の兆候を観察することも多く、その都度、訪問診療の主治医と連

携を図り、入院加療の迅速な対応をしていただきました。入退院を繰り返してはいましたが、Aさんとご家族は安心してお過ごしになられました。

ご家族は『藤沢湘南台病院があるので、この長後に住む事に決めたのです。本当に良かったと思っています』と何度もおっしゃっていました。

これからも同友会の一員として、地域医療に携わる方々と連携を図りながら、在宅療養をされていく皆様のお力に少しでもなれるよう頑張っていきます。

訪問看護の心



～利用者への想い～

訪問看護師として数多くの療養者様ご家族と出会い、私自身教えていただく事が多いと日々感じています。その中で『自宅で過ごしたい願い』に寄り添って支援を行い、印象に残ったBさんとの関わりを紹介させていただきます。

Bさんは長後で生まれ育ち、社長として忙しい日々を送られていました。70歳代でがんを発病されカテーテル留置となりました。Bさんは一人暮らしで不安も大きく、主に体調管理とカテーテル管理目的で訪問看護が開始となりました。Bさんは、地域でご友人や幼馴染みと交流がありました。「なるべく自宅で過ごしたい、しかし子供たちに迷惑をかけたくない。最期は病院に行きたい」というBさんの願いを尊

重し、ご家族、ご友人、訪問診療医、ケアマネジャー、ヘルパーサービス、藤沢湘南台病院と連携をし、亡くなる直前まで寄り添い、可能な限り自宅でBさんらしく過ごすお手伝いをする事ができました。

ご自宅に訪問させていただき、療養者様は“病気を持つ人”だけでなく様々な役割がある事、ご家族にも支援が必要という事、介護や家族の形は様々であり、表面的な事だけで判断してはいけないと痛感しています。

その人らしい生活を継続していただくためにも、療養者様とご家族の願い、生活歴、家族歴、価値観を大切にしていきたいと思っています。



訪問看護師
佐藤 理恵



訪問看護ステーション

サービス開始の流れ



●ご担当のケアマネジャーがいらっしゃる場合は先に相談しましょう

主治医に訪問看護の利用について相談

介護保険の要介護認定を受けている

介護保険の要介護認定を受けていない

医療保険を利用するとき、また、わからないときは…訪問看護ステーションにご相談ください

ケアマネジャー(介護相談員)に相談する

要介護申請を行う地域包括支援センターなどに相談する

主治医の『訪問看護指示書』により指示を受ける

藤沢訪問看護ステーションと契約
訪問看護の開始



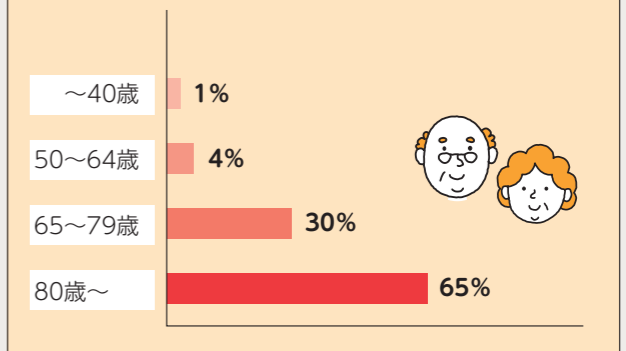
本人は家で過ごしたいと希望しているけど…

- 入退院をくり返している
- 薬剤の自己管理が困難である
- 医療機器を必要とする生活になる
- 認知症、がんの終末期、難病など
- 病状の進行で*ADLの低下が予測される
- 家族のサポートが弱い、または独居である

*ADL: Activities of Daily Living(日常生活動作)



ご利用者の年齢構成



ご利用に関すること・ご相談など…

お気軽にお問合せください。

☎0466-44-1441

営業時間 8:30～17:00 (月曜日～金曜日)

藤沢訪問看護ステーション ホームページ

